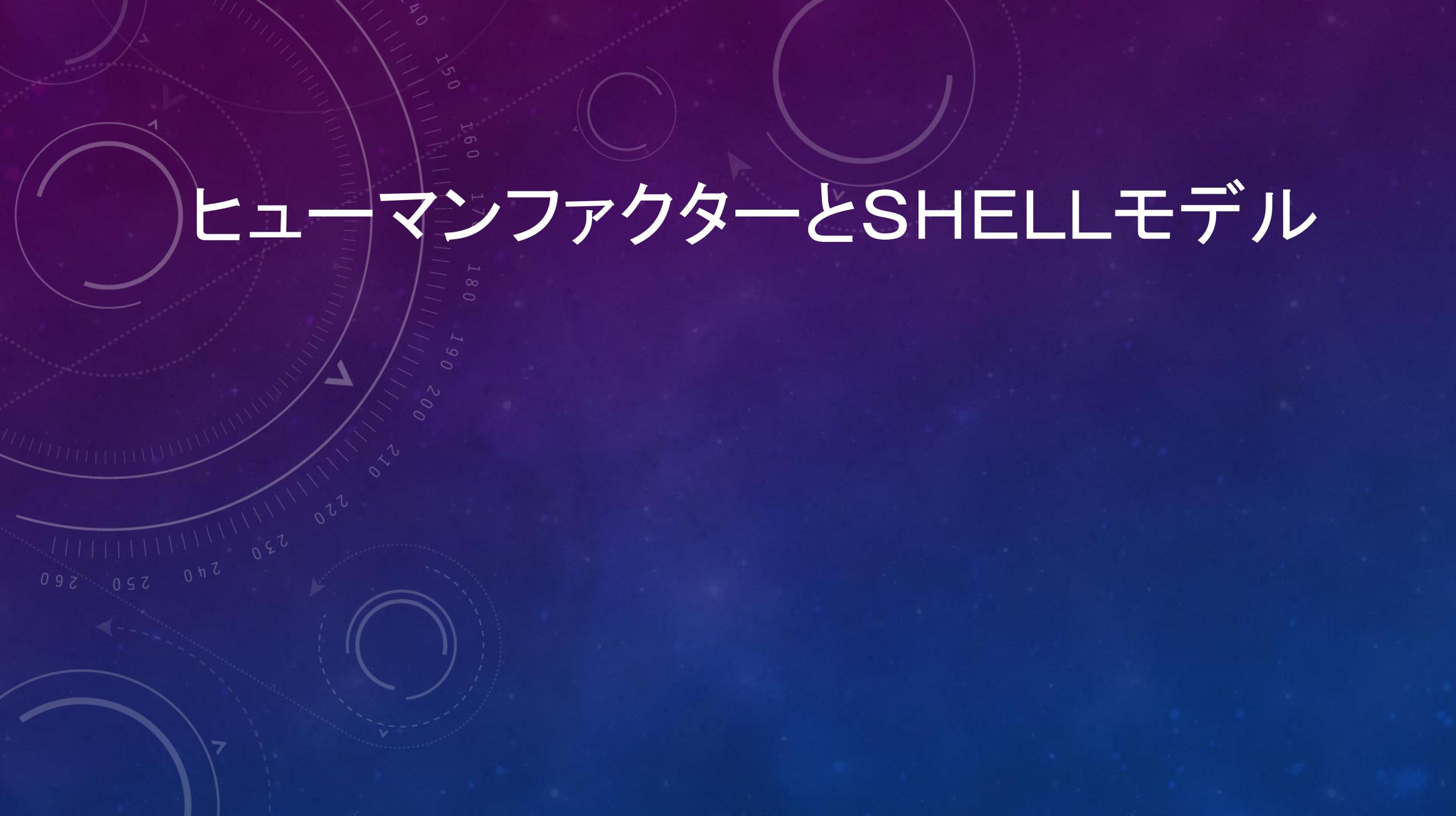


ヒューマンファクターとSHELLモデル

The background features a dark blue gradient with faint, light blue technical drawings. On the left side, there are several circular gauges or dials with numerical scales ranging from 40 to 260. Some gauges have arrows pointing to specific values. The overall aesthetic is technical and scientific.

1 ヒューマンファクター

1) ヒューマンファクターとは何か？意味と定義

ヒューマンファクター(human factor)とは・・・
組織や設備、その他さまざまな環境における**人間側の行動特性**のこと



S	Software (ソフトウェア)	手順書やマニュアル、規則など
H	Hardware (ハードウェア)	機器や機材、設備、施設の構造など
E	Environment (環境)	温度や湿度、照度など
L	Liveware (当事者)	インシデントに関与した本人
L	Liveware (当事者以外)	当事者以外のチーム、同僚など

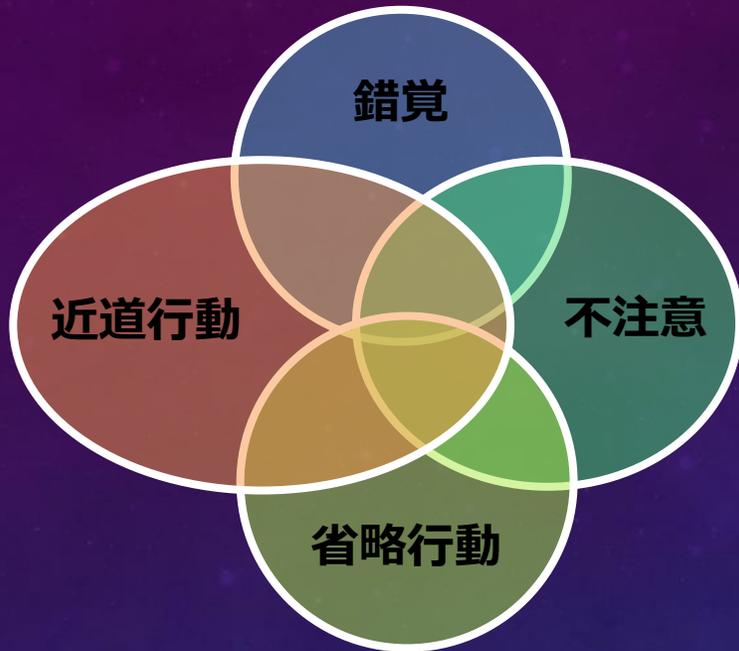


ヒューマンエラー

目の前の状況に対して、人間が異なるモデルを適用したときに発生する
人間による要因以外の理由でエラーが発生したなら、そのエラーはヒューマンエラーではない

エラーを発生させないよう、安全な環境を整備することは重要なこと
その環境を創るのも、また人間です
ヒューマンエラーの防止を目指すのが、ヒューマンファクターの意義です

2) ヒューマンファクター～人間の行動特性



① 錯覚

錯覚は目前の状況を見誤ること
認識を誤ることにより、後の行為が状況に合わないものとなる。
ヒューマンエラーの中でも非常に多いパターンの特徴になる。

② 不注意

不注意とはその意識を欠いた状態ということになる。
「うっかりしてしまった」「見落としてしまった」などの行為。

③ 近道行動

近道行動とは、「何らかの事情」によって怠ること。
意図的に行う場合もあれば、意図せずに行う場合もある。

④ 省略行動

省略行動とは、一部を省略し目的を達成しようとする事。
マニュアルを遵守せず、早く簡単に済ませてしまおうとすること。
時間的プレッシャーがある場合や複雑な業務を行うことへの惰性など。

3) ヒューマンファクター～行為の7段階モデル

例：「ペットボトルの水を飲む」という行為

